



日本共産党区議会議員
こんにちは伊藤和彦です
 自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
 足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
 日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

天空劇場をめぐる 2重のムダつかい

こんなこと許せますか!

北千住にある旧区役所の跡利用計画ではじまった「あ

だち新産業振興センター」は、事業プロポーザルで採用した総合商事と契約を結び、

定期借地の権利金及び保証金を免除、区民の財産である区有地を特定企業(総合商事)に破格の条件で貸与しただけでなく、官民パートナーシップを口実に総合商事

事いなりで使い勝手の悪い天空劇場と会議室を大家である区民が使う施設なのに毎年、多額の区民の税金で

問題点①

権利金・保証金はただで7・2億円
地代は16億円以上
まけてやる

自民、公明、民主区政はかつて推進した「2・2・2住宅プラン」では、定期借地権の権利金は、時価相場

の2割を事業者負担させ、

生涯学習総合施設「学びピア21」の住宅には建築面積割合に基づいて、住宅供給会社に10億円余の権利金を課し、地代も時価評価額の2・5%を徴収していました。

しかし、総合商事には50年の定期借地権を決めた協定では権利金、保証金を免除、地代も時価評価額の1・08%と半値以下で貸与しています。しかも解体

工事費2億7300万円は区が負担しています。区の損失は少なくとも3・6億円(決算答弁)以上、地代でも50年で16億3800万円となっています。

問題点②

事業がプロポーザル提案内容から逸脱、基本協定違反の状態

「事業プロポーザル」で提

案したメイン施設であった

「デジタルファクトリー」(映像製造工場)はなくなら

り、集客施設として期待された「黒澤明スタジオ」は

撤退、単なる貸しビル化してしまいました。区が期待した区民要望と千住地域の

賑わい・活性化という基本コンセプトに反する事態にな

っています。協定違反の状態であり、単なる貸しビルとなっていると言っても

過言ではありません。したがって、区が権利金、保証金を免除、地代を半額以下とする根拠はありません。

問題点③

毎年、9800万円の税金を投入。20年間で20億円以上税金を投入。

1年(365日の6割、216日は「区民利用」として、1日の一般利用料金(天空劇場)は34万円、(会議室)は9万円分を、



誰も使っていないくても足立区がまるまる支払っています。20年間で焼く20億円、毎年9800万円税金を注ぎ込んでいます。

区が最適条件にことづいて契約変更をして区民利用分だけでも支払えば半額以下になり、ムダ使いは改められます。

しかし、区は試算すら拒否し、施設の管理収支も「総合商事が非公開だから」と言って把握もせず、毎年、税を投入し続けています。

足立区の負担は、定期借地権で30億円、パートナーシップで20億円、合計50億円以上です。区民のみなさん!こんなこと許せますか。



写真は北千住にある旧区役所跡の東京芸術センター。最上階に天空劇場があります

六町駅駐輪場 キャンセル待ち449台



写真は、つくばエクスプレス・六町駅の駐輪場、いつも満車です。



区は民間まかせで駐輪場はつくる計画なし

11月10日、足立区議会の交通網都市基盤整備調査特別委員会(伊藤和彦は副委員長)が開かれ、地下鉄8号線整備促進大会の開催について、竹ノ塚駅付近立体化の取組状況などが報告されました。区の資料(9月現在)では区内の駐輪場のキャンセル待ちは1043台あり、そのうち六町駅が449台と区内最大となつています。

区は「民間駐輪場が500台できるのであれば」と答弁。区は民間まかせで区でつくる計画、姿勢はありません。また、原付バイクについても満車であり区の対応を求めた質問には「区有地を活用してプロポーザル民間にお願いする。約1700台大型バイクまで駐車できるものをつくる」と答えました。

利用者が多くなつた六町駅に自転車駐輪場設置は区が責任もつて作るべきではないでしょうか。



責任が区にあること、改善するよう求めました。区は、都などで議論できるようにすると約束しました。

交通網調査特別委員会では、促進大会の決議文「が東京都や国に届けていない」ことが委員会の質疑で明らかになり、私は区民の願いをきちんと都や国に届ける責任が区にあること、改善するよう求めました。区は、都などで議論できるようにすると約束しました。

質問にお答えします 6

Q 政権が変わったのに政治が変わらないまま。共産党は政権をとる気はあるの？

A はい、あります。日本共産党は「政治を変えたい」と言う国民のみなさんと一緒に現実政治を前に動かすとともに、アメリカいなり、財界中心の古い枠組みを大もとから変えて、「国民が主人公」の民主的政権＝民主連合政府を樹立する方針を高くかかげて活動しています。この改革に賛同するすべての人々との共同を広げながら、国民と広く結びつき、理論的にも組織的にも強大な日本共産党をつくるために力をつくします。25党大会の方針は、全国の党組織が国政選挙での政治的力関係を抜本的に変えるために「成長・発展目標」をもち、2010年時代を党躍進の時代にすることを確認しました。「民主党に失望した。自民党は2度とごめん」と、新しい政治の模索をつよめている広範な有権者のなかに党の姿を届け勝利することは、新しい政治実現への第一歩と考えています。くわしくは伊藤和彦区議へ



足立区の財政は健全、余力があります 2009年度決算

財政規模 2400億円
決算剰余金 93億円

2010年度末見込み基金 973億円 《貯金額・ため込み金》

財政の弾力性【余力がある】を示す

経常収支比率 足立区は全国1827自治体中48位
足立区は東京23区中 10位
(2006年の比較)